

伊達な旅ガイド

Vol.293

笑顔咲きたび 伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城

伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
19:54~20:00
BS-TBSにて大好評放送中

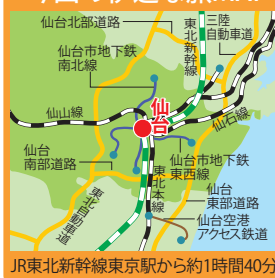


仙台・宮城
観光PRキャラクター
むすび丸

沖縄

JR・空路アクセス
新幹線
空路

今回の伊達な旅MAP



10月9日
放送

日本遺産を旅する(後編)

「日本遺産」に認定された「政宗が育んだ”伊達”な文化」の中から、仙台藩時代に城下の職人たちによって形成された伝統工芸を紹介。今も身近なところに息づく“伊達の粋”に触れてみませんか？

伝統工芸
file①

仙台御筆

大友毛筆店 Tel.022-256-5420

伊達政宗公が、下級藩士に筆づくりを習わせたのが始まりと言われる仙台御筆。大友毛筆店の筆匠 大友さんは、その技を受け継ぐ唯一の存在。



筆匠 大友 博興さん

「筆のどの部分にどのような毛を使うのかを見極めることが一番難しいところ。今まで受け継がれてきた伝統の重みを感じながら、続けていくことの大切さを感じています。」



伝統工芸
file②

堤 焼

堤焼乾馬窯 Tel.022-372-3639

かつて、堤町一帯に窯場があり、その名がついたと言われている堤焼。作陶には、この土地の土が使われている。海鼠釉（なまこゆう）と言われる模様が特徴。



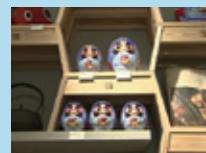
五代目 針生 乾馬さん

「堤焼の窯元として、伝統の技を受け継ぐこと。その中で、それぞれの時代の職人が時代に合った個性を見出していくことが伝統工芸なのだと思います。」



伝統工芸品がならぶ

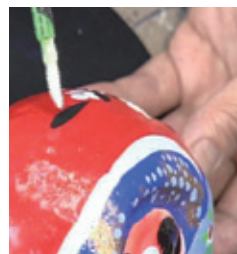
東北スタンダードマーケット
仙台パルコ2 5F Tel.022-797-8852



伝統工芸
file③

仙台張子 松川だるま

本郷だるま屋 Tel.022-347-4837



青い色で、両目が入っていることが特徴の松川だるま。宝船や福神が描かれ、縁起物として親しまれている。天保年間、仙台藩士によって始められたと言われている。



だるま職人10代目 本郷 久孝さん

「だるまの原型として使っている木型は、180年～200年前のものと言われています。伝統を守ることにこだわり、技法、色の出し方などのすべてにおいて、昔ながらの方法で制作しています。」

